

5領域支援プログラムについて

児童発達支援事業所並びに放課後等デイサービスは

令和6年度の報酬改定におきまして

「5領域を含む総合的な支援を提供すること」が基本となりました。

5領域	詳細	具体例
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○健康状態の維持・改善 ○生活習慣や生活リズムの形成 ○生活におけるマネジメントスキルの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムの安定 ・衣服の着脱 ・身だしなみや整え方
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 ○姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 ○身体の移動能力の向上 ○保有する感覚の活動 ○感覚の特性への対応等認知行動 	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢保持や上肢、下肢の運動・動作の改善 ・視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚活動 ・手先トレーニング ・ビジョントレーニング ・バランストレーニング
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○認知の特性についての理解と対応 ○対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ○行動障害への予防及び対応等 	<ul style="list-style-type: none"> ・物の機能や属性、形、色、音などの把握 ・空間・時間の概念の把握 ・小集団でのゲームなどで適切な行動形成
言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションの基本的能力の向上 ○言語の受容と表出 ○コミュニケーション手段の選択と活用 ○状況に応じたコミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション手段の選択・活用 ・絵カード等を使用し言語理解・表出能力の向上 ・障害の特性に応じた読み書き ・学習面のサポート
人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○情緒の安定 ○他者との関わり（人間関係）の形成 ○遊びを通じた社会性の発達 ○自己の理解と行動の調整 ○仲間づくりと集団への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感の向上 ・役割分担のある遊びの提供 ・ルールのある遊びや集団活動 ・社会的ルールの理解の促し ・イベントなどを通して季節の理解

かばさんらぼでは、個々の発達の課題を5領域に分け、

個別支援計画を作成しています。

その他の支援

1. 家族支援

お子さまの「こうなりたい」、ご家族の「こうなってほしい」という思いを尊重しながら支援を考えていきます。

ご家庭でできるホームプログラムの提案も行っています。

2. 移行支援

園から小学校、中学校、高校への移行時には、ご希望であれば発達検査を実施し、お子さまに必要なサポートについて詳しく評価します。

また、令和7年4月からは保育所等訪問支援を開始する予定であり、保育所等訪問支援を活用しながら園や学校との連携を行っています。

3. 地域支援・地域連携

地域連携あってのお子さまへの支援ということを強く考えながら、地域の関係機関とは密に連携を取り合っています。

園や学校の先生にもお越しいただき、訓練士との関わりを見ていただきアドバイスをすることも可能です。

4. 職員の質の向上

医療連携施設であるつじの・こどもくりにつく、甲南やまゆりクリニック、やまゆりクリニック西宮北口分院の医師、看護師と作業療法士、言語聴覚士等で協議し、学びあう環境づくりに取り組んでいます。

5. 行事・取り組み

野外活動、感覚運動遊びなどお子さまひとりひとりに合ったプログラムを提供しています。

また、季節に合わせた遊びを提供しています。